



部員一人ひとりが更に輝いていける活動を

JA 壱岐市女性部は、第60回通常総会を2月22日、JA 本所にて開催しました。

総会では、事業経過、事業計画等協議した後、JA事業や女性部事業に大きく貢献した地区に対して組合長表彰、女性部長表彰が行われました。役員改選では、勝本町の赤岩美智子さんが部長に選任されました。

また、青年部活動紹介も行われ、同青年部の米倉浩太部長がこれからの展望などを熱く語られ、「同じ JA 組織の仲間として一緒に頑張りましょう」とエールを贈りました。

令和5年度の活動をふりかえると、事業部長会では、事前にスマホで回答できるアンケートも実施し幅広く部員の声を集めることができ、常勤役員との意見交換も行いました。第3回となる親睦ウォークラリー大会では親子での参加も多くあり、約90名が参加し部員同士の親睦を深めました。農協まつりでは昨年に引き続き「1人1品で農協まつりに参加しよう」をテーマにリユースバザーへの品物提供と、新聞紙エコバッグ作成や、カルチャースクール・親と子のつどいなど自分たちができる活動に取り組みました。また、フレミズ活動"わたしの一歩"作文コンクールでは、武生水地区の大塚知子さんが『〜農家じゃない私〜』と題し、壱岐代表・県代表として堂々と発表されるなど、活発な活動を行った1年でした。

次年度も部員の想いを一つに、次の世代に豊かなくらしを繋げていくためこれまでの活動を大切にするとともに、今後も持続可能な活動ができるように多様な意見を取り入れながら、部員一人ひとりが更に輝いていけるような活動とその環境づくりに積極的に取り組んでいきます。



赤岩新部長より(新任)

5名の新メンバーも加わり、気持ちも新たにできる時にできる人で、無理のない活動を行っていきます。部員皆様のご協力をお願い致します。











山口部長より(退任)

コロナも5類感染症となり、自分たちができることから始めようを合い言葉に活動を前進させ、意見交換を行いながら女性部の在り方を考えてきました。JA 女性組織の地域を繋ぐ3つの活動『つながろう・まもろう・かかわろう』のテーマに沿って今後も参加しやすい活動を取り組んでいきたいです。

令和5年度 JA壱岐市青年部活動実績発表大会



箱崎支部の伊佐藤さんが最優秀賞受賞 令和5年度青年部活動実績発表大会 2月17日

JA 壱岐市青年部は、活動実績発表大会を2月 17日 JA 本所にて開催しました。

発表は渡良支部の西田和也さん、志原支部の山内基大さん、 鯨伏支部の石村利彦さん、勝本支部の永岡稔さん、箱崎支部の 伊佐藤昌彦さんの5名が行い、「enjoy ~受け継がれる想い~」 と題した箱崎支部の伊佐藤さんが最優秀賞に輝きました。

審査委員長の壱岐振興局農林水産部の森修蔵部長は「箱崎支部は、活動・取組が充実していること、子牛・成牛市前の除角作業等の地域貢献、人との繋がりが非常に伝わること、ユニフォームを揃え部員同士の一体感を感じること、むすびのenjoy(楽しむこと)がやる気・意欲に繋がっている」と講評し、県大会にむけては「可能な限り原稿を覚え前を向いて自信をもって発表してほしい」と激励されました。

伊佐藤さんは、「令和6年度長崎県青年大会」で JA 壱岐市青年部の代表として発表します。更なる大きな舞台で JA 壱岐市青年部をアピールして頂きたいです。

米倉部長より

コロナも5類感染症となり、この1年間様々な活動ができ嬉しく思います。部員の減少等各支部課題があると思いますが、本日の発表の成果を聞き、各支部に持ち帰り熱い思いでこれからの活動にいかしてほしいです。







	審査結	果
₩ 最優秀賞	箱崎支部	伊佐藤昌彦さん
優秀賞	渡良支部	西田 和也さん
優秀賞	志原支部	山内 基大さん
優秀賞	鯨伏支部	石村 利彦さん
優秀賞	勝本支部	永岡 稔さん







ミニトマト部会総会(3月12日)

壱岐農業の施設園芸の振興品目の一つとして、一層の品質向上と収量増大を図り生産販売面の付加価値を高め、生産者格差の是正と産地としての地位の構築を図ります。(部会長:江川満さん)

[令和5年度 部会実績]

生産者 14 名 栽培面積 42.5% 出荷数量 14,509*。 総販売金額 11,994 千円

平均販売単価 827 円/*。(過去最高)

受賞者の皆さん		
壱岐市長賞 (10ズー当り収量最優秀者)	大久保 和真 様	
壱岐振興局長賞 (総販売金額最優秀者)	江川 満・初江 様	
壱岐市農協組合長賞 (10スー当り販売金額最優秀者)	大久保 和真 様	
部会長賞	大久保 真由美 様	



ばれいしょ『ながさき黄金(壱岐黄金)』 「家の光協会」と「日本農業新聞」の取材を受けました

第9次営農振興計画で新規品目として1億円産地を目指し取り組みを行っているばれいしょ『ながさき黄金』の取材を受け、生産者や担当職員が今後の展望などについて熱く語りました。

家の光4月号と日本農業新聞(3/16日)に掲載されています。





小菊専門部会生産販売検討会(2月27日)

◎部会一丸となり平均25,000本/102·A2L率60%以上を目指す

令和5年度部会長賞表彰 **芦辺町の茂 友聴さん 受賞**

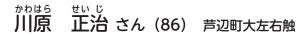
* 10元以上の作付面積であること、25,000 本以上出荷があるもの、A2L 率の最上位者の選定条件を満たした者(A2L 率 69.98%)

[令和5年度 部会実績] 栽培者 27 名 栽培面積 774章









Q. 一番の思い出は?

A. 北は北海道から南は沖縄まで日本全国友だちと の旅行ですね。

Q. 一番の楽しみは?

A. 趣味のギターやハーモニカの演奏や植木の手入れです。

Q. 元気の秘訣

A. 規則正しい生活を送り、何でも好き嫌いなく 食べることです。

もちもち屋の責任者として皆さんに美味しいお餅をお届けしています。









らいし 然 じゅ **白石 杏 珠** ちゃん(11)

栞 凪 ちゃん(9)

石田町久喜触

お父さん:勝文さん お母さん:裕美さん

《表紙紹介》 我が家のあいどるたち

杏珠ちゃんは、とても優しくていつもお手伝いを積極的にしてくれる頼れるお姉ちゃんです。

栞凪ちゃんは、明るく誰ともすぐに仲良くなれる愛されキャラです。2人ともバレー、ピアノ、習字を頑張っています。時々、ケンカもするけど何をするにもいつも2人一緒です。

「これからも仲良し姉妹でいて下さい」とご両親。

今年も芦辺町で花き農家を営む宮坂治吉さんにご協力いただき、ストックハウスで撮影させていだだきました。お花の匂いが漂い、春を感じるハウスの中で子供たちも大喜び、宮坂さんも終始にこにこでした。お世話になりました。ありがとうございます。



JA 壱岐市 ホームページ

https://ja-iki.jp/



春カボチャ

「ポイント 計画を立て適期作業を心がけましょう。

[保温対策]

直播(3/中下旬播種)の場合、3月下旬頃~4月上旬頃に発芽、苗移植の場合は(3月下旬~4月上旬移植)活着期となりますので、保温に努めましょう。

①トンネル被覆を実施しましょう。

②株元の土寄せやワラの挟み込みを行いましょう。(発芽後・移植時)

[防風対策]

毎年4月には、強風による茎葉の折損や根扱ぎ等で欠株が発生しております。

圃場周辺の防風対策(ネット張り)や強風が予想される時はべた掛けやトンネル被覆を実施し、強風を回避しましょう。 ばれば第〕

生育初期の根張り不足は生育の低下を招き、減収の要因となりますので、圃場内外の明渠や溝の清掃等を実施し、排水性の向上を図りましょう。

[仕立て方]

直播→親ツル1本仕立て

苗移植→子ツル2本仕立て

[摘芯・整枝誘引]

苗移植の場合は、本葉5枚時に生長点を止める「摘芯」作業を行い、生育の揃った子ツルを2本残します。 その後、着花(メス花)節位までの脇芽を除去しながら、誘引しましょう。

直播については生長点は止めませんので、着花(メス花)節位まで脇芽を除去しながら、誘引しましょう。 上記作業中、株元及び脇芽のオス花は除去しないで下さい。

[病害虫防除]

ウリハムシ……マラソン乳剤(1,000 倍) うどんこ病、白斑病………ダコニール 1000(1,000 倍)

※生育が悪い場合は、上記薬剤にメリット青(500 倍)を加用して下さい。

(担当:農産園芸課 長岡)

たまねぎ

「ポイント」全栽培農家によるべと病防除の徹底をお願いします。

壱岐地域の"べと病"統一対策!!

4月(特に気温が 15℃以上になる頃)以降は、たまねぎ"べと病"の発生に好適な気象条件となってきます。 JA 出荷用だけでなく直売用や家庭菜園用も含めて必ず 10 ~ 20 日間隔で薬剤散布を行いましょう。

べと病は、まん延してからの薬剤散布は防除効果が落ちるので予防を主体に防除を行い、発生がみられる場合は速やかに治療効果のある薬剤の散布を行いましょう。特に葉数が増加してからの防除は株全体にしっかりと薬液がかかるように丁寧に散布しましょう(散布量目安 250L/10a 1株当り10ml 程度・展着剤加用)。

〈使用薬剤例〉 プロポーズ顆粒水溶剤 1,000 倍(3 回以内 収穫 7 日前まで)、リドミルゴールド MZ 水和剤 1,000 倍(3 回以内 収穫 7 日前まで)*成分にマンゼブを含むものは通算 5 回以内

(3回以内 収穫7日前まで) *成分にマンゼブを含むものは通算5回以内 ランマンフロアブル 2,000倍(4回以内 収穫7日前まで)、アミスター20フロアブル 2,000倍 (4回以内 収穫前日まで)、ホライズンドライフロアブル2,500倍(3回以内 収穫3日前まで)

べと病以外の病害対策

【白色疫病】

白色の葉枯症(青みを帯びた白色〜退色)が葉先を中心に現れ、下垂し、よじれるなどの症状を併発。降雨が連続すると急激に拡大・まん延するので注意。*上記に記載のべと病対策の薬剤と同様

【ボトリチス葉枯症】

葉身上にかすり状又は長円形の白色の斑点が無数に現れる。べと病とも併発し、肥大停止・腐敗などの原因となる。 *ベと病対策薬剤のうち、プロポーズ顆粒水溶剤及びアミスター 20 フロアブルについては、ボトリチス葉枯症の治療効果も有り

(担当:農産園芸課 齋藤喬史)

この面に記載の事項についてのお問合せ先は営農センター (0920-45-3805) までお願いします。





「ポィント〕カラスノエンドウの抜き取りをお願いします。

管理作業のポイント〉

【防除】赤かび病防除(出穂後に2回)を確実に実施して下さい。*薬剤、時期については3月号参照

【排水対策】排水溝の確認・整備を再度実施し、良品質麦の生産に努めましょう。

【雑草対策】圃場周囲から圃場内へ雑草が侵入しているところが散見されます。特にカラスノエンドウ種子が混入する と調製段階での除去が難しいので、混入が著しい場合は受入れ出来ない場合があります。必ず収穫前までに抜き取り作 業を実施して下さい。

(担当:農産園芸課 下條)

(担当:農産園芸課 下條)

水稲

「ホイント|適期の栽培管理をお願いします。

令和6年産米出荷目標 100,000袋の出荷に向け、収量アップに取り組みましょう。 〈移植後の管理〉

コシヒカリの移植適期は4月20日~25日頃です。

つや<mark>姫の移植適期は4月 24</mark> 日~ 30 日頃です(水温 14℃以上が目安)。

⇒移植後、活着までは深水管理とし、活着後は浅水管理で分けつを促して下さい。

除草剤は散布後 7 日間は止水し、落水・かけ流しはしないで下さい。 ⇒田面が露出すると除草成分が分解され、効果が落ちるので、水持ちの良い圃場づくり、補水に努めて下さい。

*雑草・育苗管理についてはふれあい3月号参照

にんにく

「ホィント」適期の摘芯を行い、玉肥大へと繋げましょう。

〈管理作業〉

③摘

4月~5月にかけて玉肥大期を迎えます。収量増に向け下記の点に注意しま しょう。

①排 水 対 策…過湿は根腐れの原因となりますので、降雨後に圃場内に滞水しな いように排水溝の整備を行いましょう。また極度の乾燥は着色球 の発生に繋がりますので乾燥が著しい場合には潅水を行いましょ

②病害虫防除…大玉で収穫するには玉肥大期に健全な葉を維持することが重要 です。さび病対策としてハーモメイト水溶剤(収穫前日迄)を 800 倍で散布しましょう (展着剤加用)。

芯…抽苔茎が完全に伸びきってから摘芯を行いましょう。にんにくの 芽を出荷・販売される方は、農薬の使用基準に注意しましょう。

18cm \sim 25cm 1 cm 2 cm

(担当:農産園芸課 齋藤喬史)

スナップエンドウ 「ポイント | 暖かくなり生育が進むので、適期防除に努めましょう。

〈管理作業のポイント〉

- ①開花期以降は乾燥しないように適宜灌水しましょう (畦間灌水可)。
- ②収穫は M:5㎝~7㎝、L:7㎝以上で莢の厚みが1㎝以上で子実の肥大が目立つ前の若さやで、ガクをつけて収 穫しましょう。
- ③結莢適温は 14 \mathbb{C} ~ 18 \mathbb{C} ≈ 20 \mathbb{C} を超えると生育が悪くなり、25 \mathbb{C} 以上では草勢が悪くなり、落莢が増加します。 5月末までの継続的な出荷を目指し、草勢管理に努めましょう。
- ④生育初中期はナモグリバエの防除(アディオン乳剤 3,000 倍)、開花期にウラナミシジミの防除(パダン SG 水溶 剤 1,500 倍)を実施し、ハスモンヨトウ・うどんこ病等については初発時に防除を実施しましょう。

〈農薬使用の際の注意〉

- *病害虫防除の際は必ず『サヤエンドウ』『未成熟豆類』『野菜類』で登録のある農薬を使用しましょう。
- *収穫前日まで登録のある農薬については、散布後24時間以上あけて収穫しましょう。

(担当:農産園芸課 斉藤俊介)





川崎裕司組合長 壱岐市市制施行20周年記念表彰(農林功労)を受賞

3月1日に開催された壱岐市市制施行20周年記念式典において、川崎組合長が当JAの代表理事組合長として、組合の発展と営農の推進に尽力され、農業の振興に貢献された功績を称え、表彰されました。



営農部 松嶋係長 全国大会で審査員特別賞受賞

令和5年度(第8回) JA 営農指導員実践全国大会(2月16日 東京)

上記の全国大会で九州・沖縄ブロックを代表して JA 壱岐市農産園芸課の松嶋新係長が発表。「めざそう! アスパラ主導で離島農業日本一へ~小さな島の大きな挑戦~」と題し、当 JA が第9次営農振興計画の販売高 100 億円達成にむけた主要品目のアスパラガスの取り組みについて、現状の課題、挑戦、取り組みの成果などをまとめた内容を持ち前の表現力を活かし堂々と発表しました。

発表の結びには、「私の目標、それは若者が希望を持ち豊かな生活を営むことができる離島農業をアスパラ主導で目指していくことです。この目標は必ず達成します。離島農業日本一達成の暁には、またこの実践発表の場でその成功事例を皆さんに紹介したい」と意気込みを語り発表を締めました。大きな目標100億にむかい、農家組合員、JA役職員、関係機関が一丸となり離島農業日本一の達成とともに、またこの大きな舞台での実践報告を目指します。



お世話になりました~組合員の皆様へお礼の言葉~

令和6年3月末をもって、お二人が定年退職を迎えます。組合員皆様へご挨拶を預かっておりますのでご紹介します。





赤岩 和人 (南支所 支所長)

この度、3月末をもちまして定年退職を致します。

昭和57年の入組以来42年の長きにわたり、組合員皆様をはじめ多くの方々にご指導・ご協力を賜り、今日まで勤め得ましたことを改めて厚くお礼申し上げます。

仕事を通じて多くの方々から学ばせて頂いた経験を、これからの人生に活かしていきたいと思います。

組合員皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。 長い間、誠にありがとうございました。



谷本 若江 (北支所 次長)

この度、3月末をもちまして定年退職致します。

昭和57年入組以来長きにわたり、組合員皆様をはじめ多くの方々から賜りましたご支援とご厚情により今日まで大過なく勤めることが出来ましたことに心から感謝申し上げます。

これまでの経験や学んだ事を活かし、今後の人生を有意義なものにしていきたいと思っております。

組合員皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げお礼の挨拶とさせていただきます。 大変お世話になりありがとうございました。



この度定年退職を迎えられた赤岩支所長と谷本次長。お二人は、島内の高校を卒業後、42年の長きにわたり、JA事業にご尽力頂きました。これまでの温かいご指導に職員一同感謝しております。本当にありがとうございました。大変お疲れさまでした。これからの新しい人生の門出に益々のご多幸・ご活躍を心から願っております。 (田原 靖子)



○発行: 令和6年3月27日 壱岐市農業協同組合 壱岐市郷ノ浦町東触560番地○編集: 企画課 TEL.0920-47-1333 FAX.0920-47-1283 ○印刷: 街正文社印刷所

